

## 平成19年度第1回公立大学法人会津大学教育研究審議会議事概要

- 1 日時 平成19年5月23日(水) 15:00~17:03
- 2 場所 会津大学管理棟3階 大会議室
- 3 出席者  
委員:角山学長(議長)、黒田委員、ミレンコフ委員、太田委員、セドゥーキン委員、加羅委員、  
オーア委員、魏委員、岡委員、齋藤委員、新城委員  
計12名  
その他事務局職員
- 4 議事録署名人 黒田委員、オーア委員
- 5 議事
  - (1) 議題
    - A 平成18年度業務実績報告書(案)について  
片平総務グループ参事より、配付資料に基づき説明があった。  
このことについて、委員より、評価実施機関について質問があり、片平参事より説明があった。  
その他委員から特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。
    - B カリキュラムの改正に伴う学科名の変更について  
学部長の黒田委員より、配付資料に基づき説明があった。  
委員から特に意見等なく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。
    - C 大学院コンピュータ理工学研究科の運営組織等に関する規程の一部改正について  
研究科長のミレンコフ委員より、配付資料に基づき説明があった。  
委員から特に意見等なく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。
    - D 大学院の専攻の変更について  
研究科長のミレンコフ委員より、配付資料に基づき説明があった。  
このことについて、委員より、ITスペシャリスト専攻を実施するための事業費について質問があり、平成19年度分の予算は確保しているが、大学の運営経費が削減される中で事業を進めなければならないので、ITスペシャリスト教員の一部を客員研究員として招へいする予定であるとの回答があった。  
これに対して、様々な意見が交わされた後、今回の教育研究審議会において議題Dの採決を行うこと自体に反対する意見があったため、角山議長の提案により、今回の教育研究審議会において議題Dの採決を行うか否かの採決を行い、採決の結果、議題Dの採決を行う意見が多数であったため、議題Dの採決を行うこととなった。  
その後、挙手により賛否が問われ、賛成多数により議題Dは原案どおり承認された。
  - (2) 報告事項
    - A 平成20年度入学者選抜要項について  
学生部長の太田委員より、配付資料に基づき説明があった。  
このことについて、特に質問はなかった。
- 6 その他
  - A 学生数等の状況について  
学生部長の太田委員より配付資料に基づき説明があった。
  - B 学外の委員から、大学に対し以下の意見があった。
    - ・審議事項についての情報を事前にいただくと審議に入りやすい。

## 平成19年度第2回公立大学法人会津大学教育研究審議会議事概要

1 日時 平成19年7月26日(木) 15:05~16:04

2 場所 会津大学管理棟3階 大会議室

3 出席者

委員：角山学長(議長)、黒田委員、ミレンコフ委員、太田委員、セドゥーキン委員、加羅委員、  
オーア委員、魏委員、程委員、岡委員、齋藤委員

計11名

その他事務局職員

4 議事録署名人 太田委員、魏委員

5 議事

(1) 議題

A 専任教員の選考について

まず、基礎分野の准教授候補者であるジェスパー・ジャンソン氏について、世話人の林教授より、配付資料に基づき説明があった。

次に、ソフトウェアエリアの教授候補者であるサバシュ・バーラ氏およびローター・シュミット氏について、世話人のミレンコフ委員より、配付資料に基づき説明があった。

次に、情報センターの教授候補者である寺坂晴夫氏について、世話人の魏委員より、配付資料に基づき説明があった。

次に、コンピュータエンジニアリング/コンピュータネットワークエリアの准教授候補者であるベン・アブダラ・アブデラゼク氏について、世話人の黒田委員より、配付資料に基づき説明があった。

その後委員による投票が行われ、投票の結果、候補者5名いずれも出席委員の5分の3以上の信任があったため、計5名を選考することとなった。

(2) その他

A ITスペシャリストプログラム実施に伴う19年度概算経費について

高階学生課長より、配付資料に基づき説明があった。

このことについて、特に質問はなかった。

B 会津IT日新館について

程委員より、本学が「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」として本学が文部科学省に申請していた「会津IT日新館」(実施期間3年、総事業費6,400万円)について、文部科学省から内定をもらい、来月には外部公表できる見通しであるとの報告があった。

## 平成19年度第3回公立大学法人会津大学教育研究審議会議事概要

- 1 日時 平成19年10月5日(金) 15:01~16:29
- 2 場所 会津大学管理棟3階 大会議室
- 3 出席者  
委員：角山学長(議長)、黒田委員、ミレンコフ委員、セドゥーキン委員、太田委員、佐川委員、  
程委員、岡委員、齋藤委員、小森委員、新城委員  
計11名  
委員以外：兼本教授、その他事務局職員
- 4 議事録署名人 程委員、ミレンコフ委員
- 5 議事  
(1) 議題
  - A 学部の組織改編について  
黒田委員より、配付資料に基づき説明があった。  
委員から科目選択方法や経過措置についての質疑があった後、挙手により賛否が問われ賛成多数により原案どおり承認された。
  - B 大学院の専攻及び教育研究領域の変更について  
ミレンコフ委員より、配付資料に基づき説明があった。  
委員からは特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ賛成多数により原案どおり承認された。
  - C 会津大学履修規程の一部改正について  
太田委員より、配付資料に基づき説明があった。  
委員より、IT日新館が自由科目扱いであることに対する質問があり、今年度は自由科目扱いであるが、来年度からは卒業要件単位に加えたいとの回答があった。  
その他特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ賛成多数により原案どおり承認された。
  - D 准教授から上級准教授への学内昇任規程について  
片平総務グループ参事、兼本教授より、配付資料に基づき説明があった。  
委員から規程第3条の「本学在籍6年以上の准教授(任期付き教員を除く。)」の記述について質疑があり、この記述は「任期付き教員である准教授は申請できない」という意味で、フル採用の准教授が申請を行う際に、過去に任期付きで本学に在籍した期間は、申請要件である「本学在籍6年以上」に含まれることを確認した。  
その他特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ賛成多数により原案どおり承認された。
- (2) 報告事項
  - A 大学院入学者の推移及び合格者の状況について  
太田委員より、配付資料に基づき説明があった。  
このことについて、特に質問はなかった。
  - B 平成20年度編入学選抜試験における合格者について  
太田委員より、配付資料に基づき説明があった。  
このことについて、委員より、受験生の詳細について質問があった。
- (3) その他
  - A 会津大学関連GPについて  
角山学長より、配付資料に基づき説明があった。  
委員より、学生支援GPに関して、本学の27%の学生が留年または退学してしまう原因について質問があり、「大学生活になじめない」「授業が難しく、ついていけない」等の理由があるとの回答があった。

また、学生のやる気を喚起させるための「賞」を設けるのもよいのではないかとの意見があった。

## 平成19年度第4回公立大学法人会津大学教育研究審議会議事概要

- 1 日時 平成19年12月19日(水) 13:11~14:29
- 2 場所 会津大学管理棟3階 大会議室
- 3 出席者  
委員：角山学長(議長)、黒田委員、ミレンコフ委員、セドゥーキン委員、太田委員、佐川委員、  
オーア委員、程委員、魏委員、岡委員、V.リズィー委員、小森委員  
計12名  
委員以外：岩瀬理事、その他事務局職員
- 4 議事録署名人 小森委員、セドゥーキン委員
- 5 議事  
(1) 議題
  - A 会津大学学則の一部改正について  
太田委員より、配付資料に基づき説明があった。  
委員から特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。
  - B 会津大学履修規程の一部改正について  
太田委員より、配付資料に基づき説明があった。  
委員から特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。
  - C 会津大学大学院学則の一部改正について  
ミレンコフ委員より、配付資料に基づき説明があった。  
委員から特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。
  - D 学部講座名称について  
黒田委員より、配付資料に基づき説明があった。  
委員から特に質問等はなく、挙手により賛否が問われ、賛成多数により原案どおり承認された。
  - E 理事長選考会議の補充委員の指名について  
片平総務グループ参事により、補充委員についての説明があった後、補充委員選出の議論が行われ、太田委員が補充委員に指名されることとなった。
  - F 理事長候補者の推薦について  
片平総務グループ参事より、理事長選考についての説明があった後、教育研究審議会が推薦する理事長候補者について議論が行われた。  
黒田委員より、角山学長を推薦する提案があり、同時に審議の中立性、公平性を確保するため、議長である角山学長の退席及び太田委員への議長の変更を求める提案があったことを受け、角山学長が退席し、代わって太田委員が議長となり、それ以後の審議を行うこととなった。  
太田議長が、角山学長以外を推薦する提案を委員に募ったところ、他に提案がなかったため、以後角山学長を理事長候補者とするについての議論が行われた。  
まず、黒田委員より、角山学長の推薦趣旨について、「角山学長は、平成18年4月の理事長就任から現在まで、周囲の意見を良く聞きながら、概ね良好な大学運営を行っており、現在進めているカリキュラム改正や組織改編など、大学改革の重要な作業が完了するまでは、角山学長に継続して理事長を務めてほしい。」との説明があった。  
その他の委員からは、「角山学長は、大学を良くしたいという意志が強く、周囲の意見を取り入れながらタイムリーな改革を実行している。」「平成18年4月に角山学長が理事長に就任して以来、ようやく大学全体が心を一つにして改革に取り組めるような体制ができた。」など、角山学長の推薦に賛成する旨の意見があった。  
その一方「教育研究審議会では理事長候補者を推薦すること自体に反対である。」という意見も

あった。

その後、挙手により賛否が問われ、賛成多数により教育研究審議会として角山学長を理事長候補者に推薦することとなった。

なお、理事長選考会議への推薦は、書面で行うこととされているため、推薦書の作成を太田議長に一任することとなった。

## (2) 報告事項

### A 平成19年度進路状況について

高階学生課長より、配付資料に基づき説明があった。

このことについて、委員より、留年者78名は例年並みの人数なのかという質問があり、例年並みの人数であり、大部分が学業不振による留年であるとの回答があった。

また、他の理工系大学の留年者数との比較について質問があり、詳しいデータはないが、他大学と同程度の人数と思われるとの回答があった。

### B 平成20年度推薦入学者選抜試験における合格者について

高階学生課長より、配付資料に基づき説明があった。

このことについて、特に質問はなかった。

### C 平成21年度入学者選抜方法について

高階学生課長より、配付資料に基づき説明があった。

このことについて、特に質問はなかった。